

# 教育委員会の点検・評価報告書

(令和3年4月～令和4年3月対象)

令和4年9月

館山市教育委員会

# 点検・評価報告書

## 1 点検・評価の期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

## 2 点検・評価の方法

第4期館山市教育基本計画（館山市教育大綱）（令和3年度～令和7年度）の事務事業の進捗状況等をもとに点検・評価を行いました。

また、館山市総合計画審議会において、意見を聴取し、点検・評価の客観性の確保に努めました。

## 3 点検・評価の結果

別紙のとおり

## 4 点検・評価の一般への公開

館山市ホームページにて公開

# 子育て

## 基本目標 1

互いに助け合い 誰もが健康で  
いきいきと暮らせるまち

### 第 1 節 子育て環境の充実



#### ■ 基本方針

- 多様な家族形態や保育ニーズに、きめ細かい対応ができる子育て支援サービスの充実を図ります。
- 切れ目のない子育て支援を強化し、子育てに対する不安や負担を軽減するとともに、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。

#### (1) 子育てしやすい環境づくりの推進

計画事業名	事業内容	担当課
子育て支援事業	保護者が必要とする施設や事業等の情報提供とともに、病児・病後児保育事業を実施し、子育て支援を推進します。	こども課
【 実施状況 】	・利用者支援員を複数配置（2名体制）し、こども課窓口や子育て支援事業等の利用に関し、寄り添い型の支援を実施しました。 ・病児・病後児保育事業を委託により実施しました。	
【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕	○利用者支援員により、子育てのサービスが円滑に利用できるような身近な場所で、子育て支援の情報提供及び必要に応じた相談ができるようになりました。（対応件数；1,189件） ▲子の成長とともに相談者は替わるため、定期的なPRを行い、周知に努める必要があります。 ○子供が病気等で自宅での看護ができない場合に、一時的に保育を行う病児・病後児保育事業を利用することで、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。 ▲新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用を控える傾向にあります。	

<p><b>重点</b> 保育園・こども園における保育サービスの充実</p>	<p>多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育や土曜・休日保育、預かり保育の充実を図るとともに、私立保育園に対する運営支援を行います。また、在宅乳幼児等の保護者の子育て支援として「一時預かり事業」の充実を図ります。</p>	<p>こども課</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北条幼稚園において、預かり保育を実施しています。</li> <li>・市内私立保育園4園及び私立幼稚園1園に対し、補助金を交付し運営費等の支援を行いました。</li> </ul>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○幼児保育の無償化により北条幼稚園の預かり保育も無償となりました。保育の必要な子どもの受け皿が増えました。</p> <p>○私立保育園や私立幼稚園に対し、補助金等を交付したことにより、教育・保育サービスの維持及び拡大を図ることができました。</p> <p>▲多様化する保育ニーズへの対応及び検討が必要です。</p> <p>▲特別な支援が必要な園児の増加に伴う保育士等の負担軽減が必要です。</p> <p>▲就業する保育士の不足により、産休等に伴う代替保育士の確保が困難な状況となっています。</p>	

<p>幼児教育の充実</p>	<p>北条幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行について検討するとともに、私立幼稚園及び私立保育園に通う保護者に対する支援を行います。また、短時間児について、公立こども園での3歳からの受け入れについて検討します。</p>	<p>こども課</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育の無償化制度により北条幼稚園の預かり保育の無償化を行っています。</li> <li>・私立幼稚園に通う保護者に対しては利用料の支給により実質無償化し、負担を軽減しました。</li> </ul>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○預かり保育を実施したことにより、保育の必要な子どもの受け皿が増えました。</p> <p>▲共働き世帯の増加等の影響により保育所等のニーズが高まり、幼稚園への就園率が低く、規模の小さな幼稚園では集団教育・保育の提供が困難となっています。</p> <p>▲支援の必要な園児が増えているため、専門職員や施設整備が必要となっています。</p>	

<p><b>重点</b> 「元気な広場」運営事業</p>	<p>子育て親子や世代間の交流、子育てに関する相談及び情報提供を通じた不安解消を図るため、子育て支援拠点「元気な広場」の運営及び「出張子育てひろば」の実施を推進します。また、会員間の相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業を推進し、子育て支援ネットワークの拡充に努めます。</p>	<p>こども課</p>
----------------------------------	--	-------------

【実施状況】	<p>元気な広場及びファミリー・サポート・センター事業の運営は、指定管理により実施しています。新型コロナウイルス感染症予防対策として、入場数の制限や窓口での検温、遊具の定期的な消毒等を徹底し、8月～9月は緊急事態宣言の発出を受け、地域を限定した開放を行ないました。緊急事態宣言の解除後は、引き続き感染対策を行いながら親子が安心して利用できる癒しの空間や、子育ての情報を入手できる講座及び育児相談等の企画を縮小しながらも提供しています。</p>
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○コロナ禍においても親子が安心して利用できる癒しの空間の他、子育ての情報を入手できる講座や育児相談の企画を提供することにより、子育ての不安の軽減が図られています。</p> <p>元気な広場利用者数 延べ 11,658人  出張子育てひろば利用者数（船形、九重、房南）延べ 127人  ファミリー・サポート・センター事業活動件数 延べ 71件</p> <p>▲安心安全な利用ができるよう感染対策等施設整備が必要となっています。  ▲新型コロナウイルス感染症の影響を受け、すべての利用を控えてしまう親子も見受けられます。  ▲ファミリー・サポート・センターの円滑な活動のため、会員登録の拡大（特にまかせて会員）が必要です。</p>

学童クラブ運営事業	<p>小学校下校後に保護者が家庭にいない留守家庭児童の健全育成と安全確保のため、公設化等による安定的で質の高い学童クラブの運営に努めます。</p>	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公設学童クラブを運営委託により実施するとともに、保護者会が運営する学童クラブへ運営費の補助を行いました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が休業した期間も感染症予防対策を徹底し、クラスターの発生なく学童を開所しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症防止対策を進めるとともに、トイレ改修や空調機設置工事を行い、施設整備や環境の改善を図りました。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○放課後に児童が安心して生活できる居場所の確保と、次世代を担う児童の健全な育成の支援に繋がりました。</p> <p>▲コロナ禍においても利用希望者が増えています。低学年だけでなく、高学年のニーズも高まっています。</p> <p>▲安定的な公設学童クラブ運営を図るため、感染症予防対策の強化と支援員の人材確保が課題です。</p>	

## (2) 子育て環境の整備

計画事業名	事業内容	担当課
児童虐待防止ネットワーク事業	要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関との連携や情報の共有化に努め、児童虐待への対応や虐待を未然に防止するためのネットワーク体制を強化します。	こども課
【実施状況】	令和3年度、実務者会議を6回、個別支援会議を15回開催しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○関係機関との密接な連携により、虐待が心配される事案に対して、早急に対応を図ることができました。 ▲要保護対策地域協議会に参加していない、他の機関との連携についても、拡大を図ることが必要です。	

保育園・幼稚園・こども園・学童クラブの整備及び安全対策の充実	保育・教育環境の向上のため、老朽化した施設の整備改修を行うとともに、北条地区及び那古地区のこども園化を検討します。また、園児の安全を確保するため、食物アレルギー対策や「新しい生活様式」に対応した安全・安心な体制を強化します。	こども課 建築施設課
【実施状況】	建物の改修や空調機の更新・増設により園児の保育環境の改善を行いました。 ・北条幼稚園：建具塗装 ・那古幼稚園：屋上防水改修 ・那古幼稚園：網戸設置工事、ゆり組・調理室前室エアコン設置 ・館野保育園：トイレ洋式化 ・中央保育園：サッシ改修 ・純真保育園：トイレ洋式化 ・九重こども園：調理室空調機更新 ・船形こども園：トイレ洋式化 ・船形学童：トイレ洋式化 ・館山学童：トイレ洋式化 ・館野学童：トイレ洋式化 ・那古学童：空調機設置	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○改修工事により、適切な施設運営を図ることができました。 ○新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ洋式化や空調機更新・増設により衛生環境が向上しました。 ▲老朽化した施設の将来的な整備や子どもの人数の減少を考慮した施設の適正規模及び運営形態について検討が必要です。規模及び運営形態について検討が必要です。	

# 教育・文化

## 基本目標 2

地域への誇りと愛着をもち  
心豊かな人材が育つまち



### 第 1 節 学校教育の充実

#### ■ 基本方針

- 「生きる力」の育成に向け、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育てる教育活動を推進します。
- 地域資源・地域人材を活用した特色のある教育を推進します。
- 子どもたちの可能性を伸ばすことのできる教育環境の整備・充実に努めます。

#### (1) 「生きる力」を育成する教育の推進

計画事業名	事業内容	担当課
<b>重点</b> 「生きる力」を育成する教育の推進	学力向上プロジェクト委員会の充実や学力向上推進コーディネーターの有効活用などにより、小中一貫した教育活動を推進します。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	・ 中学校区ごとに小中学校が連携し、学力向上プロジェクト委員会を設置し「確かな学力」を育むための研究を実施するとともに、情報交換を行う機会を設けました。 ・ 一中、館山中学校区に学力向上推進コーディネーターを配置しました。また、小学校の英語が教科に加わったことから、全小学校に英語学力向上推進コーディネーターを配置しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○学力向上プロジェクト委員会や学力向上推進コーディネーターの活用により、学力面だけでなく、生徒指導面においても小中学校の連携が深まりました。 ▲学校教育における総合的な課題として、教職員の負担軽減のための方策が挙げられます。	

福祉・環境・キャリア教育の推進	学校での指導や職場体験学習を通じ、豊かな人間性や社会性をはぐくみながら、変化の激しい社会の中で、たくましく生きる力を育成します。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っている児童生徒の職場体験、中学生の福祉の心を育てる事業(幼児とのふれあい)は中止となりました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	▲地域での職場体験や福祉の心を育てる事業とともに、これからの時代を生き抜いていく児童生徒のキャリア形成のため、近年注目されている新たな分野の職業に触れる機会も必要と考えます。	

国際理解教育の推進	小・中学校に英語指導を行う外国語指導助手(A L T)を配置し、国際感覚豊かな児童生徒の育成に取り組みます。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	民間委託による外国語指導講師(A L T)を小学校に3名、中学校に2名配置しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○授業でネイティブな発音を聞くことができ、またA L Tの出身国の文化を知ることができました。小中英語主任対象の研修会を実施することで、指導力の向上を図ることができました。 ▲小学校では令和2年度から外国語教育が教科化され、教員の授業力等の向上が課題となっています。	

情報(モラル)教育の推進	高度化する情報社会の中で、健全かつ有効に情報を活用していくための正しい知識と技術の習得、適切な判断力・活用力の育成を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の進めるG I G Aスクール構想に伴い、導入した通信環境や、一人一台タブレット端末・大型モニターなどの活用が各学校の実態や発達段階に応じて進められています。それらを活用する中で、情報知識や技術の習得を推進しています。</li> <li>・情報モラルについてI C T支援員と協力しつつ校内研修を行うとともに、携帯電話やインターネットなどの活用方法に関する指導を行っています。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○児童生徒の情報機器等の活用能力が向上しています。 ▲国の進めるG I G Aスクール構想に伴い、令和3年度から本格的に導入された通信環境や、一人一台タブレット端末・大型モニターなど、これまで以上に教職員のI C T機器等を活用した指導技術を高める手立てが必要です。	



学校給食事業	安全かつ安定した学校給食の提供を図るため、維持管理及び運営を一体とした事業を実施します。また、栄養や食習慣に関する正しい知識の習得を指導し、児童生徒の健やかな心身の育成を図るとともに、学校給食にできる限り館山市産及び千葉県産の食材を使用することにより、食育や地産地消を推進します。	教育総務課(学校給食センター)
【実施状況】	令和3年1月の新学校給食センター稼働に伴い、施設の維持管理・運営をPFI事業者が一体的に実施する体制に移行しました。また、食材については、地場産物が揃うときは優先して学校給食センターに納入するよう納入業者に依頼しています。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○PFI事業者の専門的なノウハウにより効率的で効果的な施設の維持管理及び安全かつ安定した学校給食の提供が実施されました。また、食材において学校給食に提供する米は全て館山産を使用しています。その他の食材においても館山市産及び千葉県産の使用に努めています。 ▲地産地消や食育の観点から学校給食にはなるべく地場産物を利用したいところですが、一日当たりの給食提供数が多く大量の食材が必要なため、必要量の地場産物が揃う日が少ないのが実情です。今後も納入業者に地場産物の確保を依頼するなど、地産地消の推進に努めます。	

小・中学校体育振興の推進	陸上競技大会の開催や県中学校総合体育大会等への参加促進により、児童生徒の体育実技及び体力の向上を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	児童生徒の体育振興を目的とし、館山市小中学校体育振興会に業務を委託しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が中止となりました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	▲新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、活動が大きく制限される中で、どのように児童生徒の体育実技や体力の向上を図るか検討する必要があります。 ▲少子化に伴い、体育授業での団体競技の実施、中学校においては部活動の維持が難しくなっている現状があります。	

小児生活習慣病予防検診事業	近年、増加傾向にある生活習慣病の早期発見や適切な指導のため、児童生徒に対する検診を実施し、疾病の予防を図ります。	教育総務課
【実施状況】	小学校5年生及び中学校2年生を対象として検診を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	▲新型コロナウイルス感染症の影響により、個別指導が中止となりました。	

特別支援教育体制の推進	特別な支援を必要とする児童生徒への一貫した教育相談と支援体制を充実させるため、関係者・関係機関とのネットワークの構築を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を要する児童生徒の学習及び生活支援等を行うため、幼稚園・小中学校に特別支援教育学習支援員を配置しました。</li> <li>・特別な支援を要する幼児が、円滑に小学校生活に移行できるよう、各園において保護者との教育相談を行いました。</li> <li>・館山市教育支援委員会専門家チームによる巡回相談を実施するとともに、医療機関をはじめ、庁内関係課、民間事業者との連携を強化しています。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○特別支援教育学習支援員の配置により、児童生徒の学習等の支援だけでなく、教職員指導補助も行うことで、負担軽減に繋がっています。</p> <p>○関係機関との連携を強化することにより、継続的、多角的に児童生徒及び保護者の支援を行うことができました。</p> <p>▲支援を必要とする児童生徒が増加しているため、校内、園内の相談体制の充実、支援員の増員が必要です。また、支援を要する児童生徒が増加している原因や、他自治体の優れた支援体制等の研究を通し、長期的な視点での取組を行う必要があります。</p>	

教育相談体制の充実	スクールカウンセラーやいじめ相談室などを積極的に周知し、児童生徒の様々な悩み(学力や人間関係、いじめ等)に対する教育相談体制の充実を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援センターを運営し、不登校児童生徒の支援を行いました。</li> <li>・スクールカウンセラーが全校に配置され、小中学校の教育相談体制の充実を図るとともに、適応指導委員会や生徒支援委員会に参加してもらい、児童生徒への対応について助言を頂きました。</li> <li>・各校で教育相談日を設け、子供の悩みなどのサインを見逃さないよう努めました。</li> <li>・長欠対策主任研修会を実施し、長欠児童生徒の現状を把握し、その解消に努めました。</li> <li>・中学校区生徒指導連絡会議を実施し、小中連携した課題について情報の共有を図りました。</li> <li>・児童生徒を対象として、心理テスト(hyper-QU)を実施し、その結果をもとに個別指導にあたりました。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○教育支援センターが設置されていることにより、不登校児童生徒の学習支援等を行うことができました。</p> <p>○心理テストを実施し、客観的・多面的な診断結果によって、学級状態の把握、児童生徒の理解が深まりました。</p> <p>▲長欠、不登校の児童生徒の解消に向け、更なる手だてが必要です。</p>	

児童生徒の安全対策の充実	災害・事故等に対する安全指導と、緊急時への備えを行い、児童生徒の安全確保に努めます。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校危機管理マニュアルの見直しを適宜行い、各校において教職員の危機管理意識の向上を図っています。</li> <li>・安全対策主任研修会を実施し、生活安全・交通安全・災害安全について自校の取組状況の評価を行いました。</li> <li>・通学路危険箇所について、館山市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携し、危険箇所の改善に取り組んでいます。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○交通安全だけでなく、防災、防犯の視点からも通学路を点検することで、通学路の安全対策が進んでいます。</p> <p>▲通学路の安全対策については、学校職員だけでは対応が困難なことから、保護者、地域住民、関係機関等との更なる連携が必要です。</p>	

教職員研修の充実	教職員の資質・力量の向上を図り、特色ある教育活動を推進します。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	年間を通じて、職務別研修、事務分掌・教科別研修を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○生徒指導上の諸課題や学級経営、また、特別支援教育、外国語教育、ICT教育、学校事務に関する知識が広まりました。</p> <p>▲研修機会の増加による教職員の業務削減とのバランスが課題です。</p>	

## (2) 教育活動の充実

計画事業名	事業内容	担当課
地域資源・地域人材を活用した特色ある学校づくり	歴史副読本『さとみ物語』等を活用した授業を展開するなど、地域資源・地域人材を活用した学習を推進し、児童生徒の地域への誇りと愛着心を高めます。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年生、中学校2年生が歴史副読本「さとみ物語」を活用した授業を実施しました。</li> <li>・社会科、生活科、総合的な学習の時間において、地域についての学習を推進しました。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○歴史副読本「さとみ物語」を活用した学習により、館山という地域を再発見することができました。</p> <p>○社会科、生活科、総合的な学習の時間では、地域への理解や良さを学ぶ機会になりました。</p> <p>▲地域の方々を講師に招いての学習や、地場産業の体験は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することはできませんでした。</p> <p>▲地域人材の活用について、協力してくれる人材の高齢化があり、新たな人材を確保する必要があります。</p>	

芸術・文化による豊かな心の育成	児童生徒へ優れた芸術・文化に接する機会を提供し、豊かな心の育成を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	・国、県、各種団体の文化芸術に関する事業を小中学校に紹介し、各校の状況に応じて活用しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○音楽祭や学芸展などは中止となりましたが、各校において可能な範囲で文化芸術活動を実施し、児童生徒の豊かな心の育成に繋がっています。 ◆地域性により、多様な芸術、文化に触れる機会が多くありません。	

### (3) 就学・通学への支援

計画事業名	事業内容	担当課
就学費援助事業	経済的な理由により、就学が困難な児童生徒に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。	教育総務課
【実施状況】	要保護及び準要保護児童生徒に対し、就学援助費(学用品費、校外活動費、学校給食費等)を支給しました。 ※令和3年度実績 3月末現在認定者数 【要保護】(小)5名、(中)3名 【準要保護】(小)157名、(中)99名 支給額(小)10,100,784円、(中)9,268,803円	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○経済的理由で就学が困難な児童生徒への援助により、保護者負担が軽減され、教育の機会均等を保つことに資しています。 ▲要保護・準要保護児童生徒が増加傾向にあります。 (平成25年5月 8.04% → 令和4年3月 9.36%)	

ふるさと創生奨学資金貸付事業	経済的な理由により、義務教育終了後の修学が困難な生徒に対し、奨学資金の貸付を行います。	教育総務課
【実施状況】	経済的理由で高校・大学等に進学することが困難な者に対して奨学資金を貸し付けることにより、就学の機会を失することなく、地域の将来を担う有為な人材を育成するための援助を行っています。 ※令和3年度実績 3月末現在貸付者 12名 3月末現在返還者 45名	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	▲経済的支援が重要となっている一方、奨学資金の返還が滞っている者への督促が課題となっています。	

<b>重点</b> 遠距離通学支援事業	遠距離通学の児童生徒に対し、スクールバスの運行等により通学支援を行います。	教育総務課
【実施状況】	遠距離通学費の無償化と共に、スクールバスを運行し、児童生徒の安全な通学に資しています。	

【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○遠距離通学に伴う保護者の負担軽減が図られています。 ○市が所有するスクールバスを運行することにより、通学時の児童生徒が、安全に通学できています。
----------------------	--

#### (4) 教育環境の整備・充実

計画事業名	事業内容	担当課
<b>重点</b> 学校施設の整備充実	学校施設の耐震化を図るとともに、防音対策など、学習環境向上のための施設整備や老朽化した学校施設の改修を行います。	建築施設課 教育総務課
【実施状況】	・那古小学校校舎、西岬小学校講堂、第一中学校校舎西棟トイレ改修工事が完了しました。 ・那古小学校校舎の非構造部材（ガラスブロック壁）の耐震対策工事が完了しました。 ・旧第三中学校校舎の取壊しが完了しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○那古小学校校舎、西岬小学校講堂、第一中学校校舎西棟トイレ改修工事が完了し、児童・生徒の衛生環境が改善されました。 ○那古小学校校舎の非構造部材（ガラスブロック壁）の耐震対策工事が完了し、施設の安全性が向上しました。 ○旧第三中学校校舎を取壊し、学校施設（構造体）の耐震化が完了しました。	

学校用教材備品の整備	新学習指導要領に基づく備品を計画的に整備し、快適な学習環境と教育効果の向上に努めます。	教育総務課
【実施状況】	学校備品の更新や必要な教材を購入し、教育環境の向上を図りました。 ※令和3年度実績 小学校 4,397,002 円 中学校 2,571,891 円	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○令和3年度は、概ね各校要望どおりの備品を整備することができました。 ▲厳しい財政状況の中、計画的な整備が困難となっています。	

<b>重点</b> 少子化に対応した教育環境の向上	『館山市学校再編基本指針』に基づき、教育環境の向上を目的とした中・長期的な学校再編を検討します。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	学校再編調査検討委員会からの答申を踏まえて、将来的な学校規模に関する方針である「将来に向けた学校のあり方に対する基本指針」を令和4年3月に策定しました。策定にあたり、令和4年1月～同年2月にかけて、同基本指針（案）に関するパブリックコメントを実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○「将来に向けた学校のあり方に対する基本指針」を策定したため、今後は、学校に直接関わらない市民の方にも、「市全体の課題点」として、今置かれている学校運営の現状について理解を深めてもらえるよう、広報誌や説明会等により丁寧に周知します。また、各地域で協議会などの組織を作り、保護者や地域の方で協議を行い、将来の学校のあり方に対する様々な意見を集約していき	

	<p>ます。</p> <p>▲各地域の協議会における様々な意見をどのように集約していくのかが課題です。</p>
--	---

<p>学校区コミュニティの形成</p>	<p>地域との連携・協力により、地域を挙げて次世代を担う児童生徒を育てる体制をつくります。</p>	<p>教育総務課(教育推進室)</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価を実施し、その結果について、分析を行うとともに保護者や地域に公開しています。</li> <li>・定期的に学校評議員会議を開催し、学校運営状況を説明するとともに学校運営の改善について検討を重ねています。</li> <li>・学校行事等を保護者や地域に知らせるとともに、その参加を依頼し、学校の取組や様子を知らせています。</li> <li>・ホームページやブログを活用し、各校の情報を発信しています。</li> <li>・児童生徒の安全確保、また、日頃からの見守り体制を構築するため、安心安全サポーター（地域見守り隊）の方々と定期的に情報交換を行っています。</li> <li>・各校で教育ミニ集会を開催するなど、次代を担う子供たちのより良い成長について地域の方々と考えています。</li> </ul>	
<p>【成果と課題】</p> <p>〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○学校便り、ホームページやブログ等により、学校行事や取組内容について、地域等に対し情報発信が図られました。</p> <p>▲学校評議員、安心安全サポーター等、学校活動に協力をいただいている地域人材の高齢化が課題です。</p>	

<p><b>重点</b></p> <p>情報教育環境の整備</p>	<p>「GIGAスクール構想」の実現に向けて整備したICT環境を活用し、効果的な指導・学習を推進します。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>一人一台タブレット端末を始めとしたICT環境を活用した授業や家庭学習を実施しました。</p>	
<p>【成果と課題】</p> <p>〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○ICT機器の利活用により、深い学びを実現できました。ICT支援員を各小中学校へ派遣し、教員への支援やICT機器の管理を行ったため、より効果的な授業・学習を行うことができました。</p> <p>▲教員のICT機器の利活用における支援、ICT機器の管理には、専門的な知識や技能を要するため、ICT支援員による継続的な支援が必要です。</p>	

## 第2節 青少年の健全育成強化



### ■ 基本方針

- 体験講座の開催や青少年育成事業の支援等により、子どもたちの郷土への誇りや愛着心、生きる力をはぐくむための機会を充実させます。
- 地域の人や異学年との関わりの中で、青少年が社会性や規範意識等を身に付け、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進します。

#### (1) 青少年の健全育成強化

計画事業名	事業内容	担当課
青少年健全育成体制の充実	P T Aや子ども会、青少年相談員、各種社会教育関係団体の自主的な活動を支援し、青少年の健全育成を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	青少年の健全育成のため、青少年相談員連絡協議会への補助を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容を見直し、代替事業を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○各種事業への補助を実施することにより、児童等に対し様々な体験学習機会を提供できました。 ▲少子化や児童・生徒のライフスタイルの変化による参加者の減少や、地域コミュニティの変化による子ども会加入者の減少が懸念されています。	
放課後子供教室の推進	地域の人とともに勉強やスポーツ、文化活動、遊びなど、様々な体験ができる放課後子供教室を実施します。	生涯学習課
【実施状況】	「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、市内全小学校（10校）で小学校の余裕教室等を使用する放課後子供教室を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため約4ヶ月しか開催できませんでしたが、地域のコーディネーターやボランティアスタッフに支えられ、116回、延べ1,946人の児童が参加しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○児童が放課後等に地域住民や異学年の児童と交流することで心豊かで健やかに育まれる環境作りが図られました。 ▲地域のコーディネーターやボランティアスタッフの高齢化により、人材の確保が難しくなっています。学校によって児童数に差があり、同じ内容の講座を実施する場合でも複数日を要する場合があります。	
ふるさと体験活動の推進	子どもたちの郷土への誇りや愛着心、「生きる力」をはぐくむため、自然や歴史、文化、農業体験等、幅広い分野の体験講座を開催します。	中央公民館

【実施状況】	・新型コロナウイルス感染症の影響及び悪天候により、たてやまワクワク探検隊(ホテル観察会)のみ開催しました。
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○体験活動を通じて、館山の自然の豊かさや良さを認識することができました。 ▲コロナ禍の収束の兆しが見えない中で、参加条件の緩和と感染症対策のバランスが求められています。

## 第3節 生涯学習の推進



### ■ 基本方針

- 多種多様な生涯学習機会を提供するため、博物館・図書館・公民館の更なる充実を図ります。
- 市民の自主的な学びやサークル活動を支援するとともに、生涯学習ボランティア制度の活用を通じて、市民の豊富な知識や経験を地域社会に還元してもらうための取組を推進します。

#### (1) 学習機会の提供

計画事業名	事業内容	担当課
生涯学習講座・教室の開催	豊かな地域資源と様々な情報資源を活用し、多様な学習機会を提供することより、市民の自主的な学習活動を促進します。	中央公民館 図書館
【実施状況】	<p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人講座、青少年講座を開催しました。</li> <li>・地区公民館において、地域のニーズに配慮した講座を開催しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった講座がありました。</li> </ul> <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、予定していた子ども向け講座は全て中止しましたが、「おはなし会」は9回開催しました。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【中央公民館】</p> <p>○講座の開催により、市民に対して様々な生涯学習の機会を提供することができました。</p> <p>▲コロナ禍の収束の兆しが見えない中で、参加条件の緩和と感染症対策のバランスが求められています。</p> <p>【図書館】</p> <p>▲・図書館資料の利活用や、図書館機能や役割の周知につながるような行事を計画・実施していく必要があります。</p>	



家庭教育事業の推進	家庭教育学級や子育て支援講座等の実施による家庭教育の知識向上とともに、子育てについての相談窓口及び情報提供の充実により、家庭教育力の向上を図ります。	中央公民館
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学級の開設支援や子育て支援講座「ハッピーファミリー」を開催しました。</li> <li>・家庭教育や子育てに対する相談窓口の運営を行いました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった講座がありました。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○家庭教育学級などの事業を通じて、家庭教育力の向上、保護者同士の交流や情報交換の場を提供することができました。</p> <p>▲コロナ禍の収束の兆しが見えない中で、参加条件の緩和と感染症対策のバランスが求められています。</p>	

児童サービスの充実	子どもの発育段階に対応した魅力的な書架づくりと、児童と本とを結び付けるきっかけづくりを行うことにより、本の楽しさに触れられる機会を提供します。	図書館
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童を対象に、豊かな想像力と語学力が育まれるよう読書支援の一環として、「おはなし会」を9回開催しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、「わらべうたの会」や子ども向け講座は中止しました。</li> <li>・図書館を利用しやすくする環境整備として、キッズタイムを実施しました。</li> </ul>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○行事を通じ、本と親しむきっかけづくりとしての読書支援や図書館の活用・理解を促進する機会を提供することができました。</p> <p>▲子どもの知的欲求に応えられるよう、広い分野での蔵書の構築に努める必要があります。</p>	

図書館機能の充実	市民の「読みたい」「知りたい」「調べたい」という知的好奇心にこたえることのできる資料を収集・提供するとともに、図書館資料を使つての調査相談（レファレンス）サービスの提供やインターネットによる蔵書検索・予約、図書館システムの利活用による効率的な資料管理により、市民の多様なニーズに対応した資料や情報の提供を行います。	図書館						
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年度は約3か月間の臨時休館がありましたが、総所蔵点数及び貸出数は前年度を上回りました。</li> <li>・資料の購入や寄贈の受入を行い、利用に供するとともに、資料を基に利用者への貸出や調査相談を行いました。</li> </ul> <p>&lt;令和3年度&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>所蔵資料点数</td> <td>162,895点</td> </tr> <tr> <td>資料購入点数</td> <td>2,347点</td> </tr> <tr> <td>資料寄贈受入点数</td> <td>471点</td> </tr> </table>		所蔵資料点数	162,895点	資料購入点数	2,347点	資料寄贈受入点数	471点
所蔵資料点数	162,895点							
資料購入点数	2,347点							
資料寄贈受入点数	471点							

	<p>資料貸出点数 95,409 点 レファレンス受付件数 1,481 件</p> <p>・図書館システムを用い確実な資料管理に努めるとともに、インターネット検索・予約等で利用者の利便性を図りました。</p> <p>&lt;令和3年度&gt;</p> <p>予約総件数 9,030 件 うちインターネット予約件数 6,234 件</p> <p>・電子書籍の読める電子図書館サービスを行いました。</p> <p>&lt;令和3年度&gt;</p> <p>電子図書購入数 233 点 電子書籍貸出点数 1,240 点</p> <p>・幅広いジャンルの図書館資料に利用者が触れられるよう、様々なテーマでの企画展示を行いました。</p>
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○新鮮で豊富な図書等の提供が可能となり、市民の知的学習活動が活発に展開され、市民の課題解決につなげることができました。</p> <p>▲経年の資料の蓄積により、収蔵能力が限界を迎えています。</p> <p>▲図書館資料と利用者をつなぐための司書は、知識を蓄積し、地域事情にも精通していることが必要のため、専門職としての確固たる位置づけと継続的な育成・配置が必要となります。</p>

## (2) 学習活動の支援

計画事業名	事業内容	担当課
サークル活動の支援	新たなサークル参加者を増やすための活動や自主的なサークル活動等に対する専門性を活かした指導、助言等の支援を行い、活動の活性化を図ります。	中央公民館 博物館
【実施状況】	<p>【中央公民館】 中央公民館サークル連絡会の活動支援や協働事業を実施しました。なお、サークルフェスティバルの開催は、新型コロナウイルス感染症の影響より中止となりました。</p> <p>【博物館】 市民サークル「城山古文書会」へ、助言者として学芸員が参加し、より正確性の高い学習機会を確保しました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【中央公民館】 ○令和3年度のサークルフェスティバルは開催に向け準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大を考慮し、参加者や関係者の健康と安全を守ることが最優先と考え、中止としました。</p> <p>▲サークル活動をコロナ禍前の状態に戻すことが求められています。</p> <p>【博物館】 ○自主的な学習機会などの市民の自己表現の場としての活動に寄与しました。</p> <p>▲博物館講座受講生が自主的に活躍できるよう、活動支援を継続します。</p>	

<p>生涯学習ボランティア制度の充実</p>	<p>学校への支援や多様化する学習ニーズに対応するため、市民の豊富な知識や経験等を活用する仕組みづくりを進めます。また、ミュージアムサポーターを拡充することにより、博物館事業の充実を図ります。</p>	<p>生涯学習課 博物館</p>
<p>【実施状況】</p>	<p><b>【生涯学習課】</b> 市民の豊富な知識や経験等を活用し、学校支援事業や出前講座事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年と比較すると実施件数・参加人数は減少しました。</p> <p><b>【博物館】</b> ミュージアムサポーター「甲冑士」による歴史体験教室「甲冑を着よう」は、毎月第2、第4日曜日の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止しました。 また、構成員の高齢化に伴い、定期的な事業を行うことが難しくなったため、「甲冑士」の活動を令和3年度をもって休止としました。 ミュージアムサポーター「絵図士」による文化財マップを作成し、博物館ホームページ内のフィールドミュージアムで公開、印刷物の博物館本館内での配付、及び館内展示を実施しました。</p> <p>マップ作成数 5件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道標（市内）</li> <li>・俵光石</li> <li>・石工俵家</li> <li>・神余日吉神社と安楽院跡</li> <li>・山本御嶽神社</li> </ul> <p>文化財マップ展 8回（上半期4回、下半期4回）</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p><b>【生涯学習課】</b> ○学校支援活動においては学習支援、環境美化が図られました。また、本事業を通じて市民の学びの還元を図る機会を提供することができました。 ▲豊富な知識・経験を有する市民は潜在していると考えられますが、それらの人材の活用を図るためには、更なる周知が必要となっています。</p> <p><b>【博物館】</b> ○地域人材の活用によるボランティアの拡充、博物館事業の充実を図りました。 ▲ボランティアが継続して活動できる環境、体制の整備が必要です。 ▲指定管理者等との連携も踏まえ、持続可能なボランティアの仕組みづくりが必要です。</p>	

## 第4節 歴史の継承と文化の振興



### ■ 基本方針

- 寺社、史跡、歴史的建造物、民俗芸能、博物館が収蔵する歴史文化遺産を保存・継承するとともに、それらの活用により、観光やまちづくりなど、地域の活性化につながる取組を進めます。
- 市民自らが、主体的に芸術文化活動ができるように、発表する場の提供や情報提供に取り組んでいきます。

#### (1) 歴史・文化の保存・継承

計画事業名	事業内容	担当課
郷土に関する展覧会・講座等の充実	歴史文化遺産の展示公開や郷土の魅力を理解する展示・講座の拡充を図ることにより、郷土に対する誇りや愛着心をはぐくむとともに、先人の歩みや地域性を紹介することにより、歴史から学ぶ力を醸成します。	博物館 中央公民館
【実施状況】	<p>【博物館】</p> <p>&lt;常設展示&gt;</p> <p>本館：館山、安房地方の歴史と民俗 分館（渚の博物館）：房総半島の海と生活 八犬伝博物館（館山城）：南総里見八犬伝の世界</p> <p>&lt;企画展&gt; 場所：本館</p> <p>①新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」 (4/24～6/27 入館者 8,917 人)</p> <p>②収蔵資料展「楽しいもじ」 (7/10～9/20 入館者数 11,587 人)</p> <p>③新・地区展「九重—恵み豊かな里の人々—」 (11/6～12/28 入館者数 10,847 人)</p> <p>④企画展「よみがえる近代安房の風景」 (2/5～3/21 入館者数 10,014 人)</p> <p>&lt;パネル展&gt; 場所：分館（渚の博物館） 「安房分院の磨崖碑」(6/15～8/25)</p> <p>&lt;普及事業&gt;</p> <p>①歴史体験教室「甲冑を着よう」 新型コロナウイルス感染症対策（密接を避ける）のため中止</p> <p>②歴史教室「古文書を読んでみよう」 各クラス 8 回×4 クラス，受講生 106 人</p>	

	<p>③博物館・図書館合同講座「なつやすみ宿題大作戦」  7/29 図書館 参加者 6 人  8/5 博物館 参加者 9 人</p> <p>④昔のくらし解説  2校 受講者数 170 人</p> <p>【中央公民館】  ・一般市民を対象にした「ふるさと講座」については、地域の歴史や文化、自然をテーマとした講座を 4 回開催しました。(新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった講座がありました。)  ・「安房地区公民館連携講座」(安房郡市 3 市 1 町) は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送りました。</p>
--	---

<p>【 成果と課題 】  〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>【博物館】  ○地域の歴史資料や文化財を展示、公開することにより、郷土を知る手がかりを提供しました。  ○市民の歴史への興味や関心に応え、情報発信するとともに、学芸員による解説を通じて正確な情報理解がなされるように努めました。  ○人が参集する解説会の他に、市公式 YouTube チャンネル上で、学芸員による企画展等の解説を配信しました。  ▲市内に存在する歴史資料を恒常的に掘り起こし、活用する方法を工夫することが必要です。  ▲動画配信を積極的に展開し、コロナ禍における博物館運営に工夫を凝らすことが必要です。</p> <p>【中央公民館】  ○「ふるさと講座」に参加し、郷土に関する知識を得たことで、参加者の「ふるさとへの愛着」が育まれました。  ▲ジャンルにとらわれない魅力ある講座が求められています。  ▲市民全体や外に向け、地域の魅力を広く PR していく必要があります  ▲コロナ禍の収束の兆しが見えない中で、参加条件の緩和と感染症対策のバランスが求められています。</p>
---------------------------------	--

<p>郷土資料の収集・保存と提供</p>	<p>歴史・文化など地域資源の情報発信や地域課題の解決という視点から、郷土資料の収集・保存と情報提供機能の充実を図ります。</p>	<p>博物館  図書館</p>
----------------------	---	---------------------

<p>【 実施状況 】</p>	<p>【博物館】  令和 3 年度資料収集点数                    3,090 点  令和 3 年度末保有資料数                    105,275 点</p> <p>【図書館】  ・図書を中心に、館山・安房地域にゆかりのある作家の著作や歴史・伝統文化に関する資料や行政資料などの郷土資料の収集・整理・提供を行いました。</p> <p>＜令和 3 年度＞  郷土資料所蔵点数                    7,837 点</p>
-----------------	--

	郷土資料貸出点数	316点
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【博物館】</p> <p>○様々な社会状況により歴史的な地域文化資料が滅失する中で、保護すべき資料の収集に努めました。</p> <p>▲収集品を収める収蔵スペースには制限があるため、スペースの有効活用と拡大が必要です。</p> <p>▲地域資料の適切な保存の重要性について、市民の理解、協力を得られるよう情報発信が必要です。</p> <p>【図書館】</p> <p>○一般流通していない郷土資料や行政資料についても、寄贈等により広く収集を行いました。</p> <p>▲郷土の歴史を未来に伝えていくために、継続的な郷土資料収集・保存を行い、利活用を図りながら継承していく必要があります。</p>	

博物館機能の充実	博物館本館、館山城、渚の博物館それぞれの特色を活かした効率的な運営方法を検討します。また、指定管理者との連携・協働を推進します。	博物館																
【実施状況】	<p>&lt;指定管理者による運営&gt;</p> <p>本館、八犬伝博物館（館山城）、渚の博物館等における一部の業務について、指定管理者による運営を実施しました。</p> <p>指定管理者 株式会社塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫</p> <p>期間 令和元年12月1日～令和6年11月30日</p> <p>延長条件により更に5年間の期間延長可</p> <p>&lt;施設設備の維持管理&gt;</p> <p>老朽化や故障に対応し、施設設備の修繕を実施しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>本館集会室窓修繕</td> <td>480,700円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本館誘導灯修繕</td> <td>132,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本館暖房用場ボイラー修繕</td> <td>119,542円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本館受水槽水管漏水修繕</td> <td>98,670円</td> <td>外7件</td> <td>計1,083,901円</td> </tr> </table> <p>&lt;新型コロナウイルス感染症対策&gt;</p> <p>（国）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による衛生対策としての設備改修や、コロナ禍での博物館運営に必要な対策を施しました。</p> <p>①設備改修：本館トイレ洋式化等改修工事</p> <p>事業費 3,410,000円</p> <p>内容 本館来館者用、職員トイレ洋式化改修工事5箇所 自動洗浄器付便器7箇所</p> <p>②博物館運営：受付時の検温、手消毒、受付簿記入</p> <p>受付カウンターのシールド設置</p> <p>講座等における密集を避けた机配置（1人掛け机の使用）</p>		本館集会室窓修繕	480,700円			本館誘導灯修繕	132,000円			本館暖房用場ボイラー修繕	119,542円			本館受水槽水管漏水修繕	98,670円	外7件	計1,083,901円
本館集会室窓修繕	480,700円																	
本館誘導灯修繕	132,000円																	
本館暖房用場ボイラー修繕	119,542円																	
本館受水槽水管漏水修繕	98,670円	外7件	計1,083,901円															

	展示ケース等の消毒 入館者に対する案内掲示	
【 成果と課題 】 [○成果 ▲課題]	<p>&lt;指定管理者による運営&gt;</p> <p>○指定管理者による以下の業務と連携を図り、より魅力的な施設とするため適正な管理運営を実施しました。</p> <p>本館 …受付業務          館山城 …受付業務、施設運営業務、維持管理業務の一部          渚の博物館…受付業務</p> <p>○指定管理者自主事業による企画展示が開催されました。これに併せて、指定管理者により、展示室照明等の一部改修も実施され、積極的な博物館運営が図られました。</p> <p>事業名 館山市芸術大使 井上文太展          場所 八犬伝博物館（館山城）2階展示室          期間 令和3年3月31日～令和4年3月31日</p> <p>▲行政と指定管理者の密接な連携により、魅力ある城山公園エリアの創生を図ります。</p> <p>&lt;施設設備の維持管理&gt;</p> <p>○施設設備の延命化と適正な機能保全に努めました。</p> <p>▲施設等の老朽化が進む中、適正な維持管理を実施し、博物館入館者に対し快適な空間、環境を提供することが必要です。</p> <p>&lt;新型コロナウイルス感染症対策&gt;</p> <p>○入館者受付時、施設管理において対応策を講じました。</p> <p>▲博物館においては、展示品の保全の観点から、十分な換気対策が困難な場合があります。</p> <p>▲入館者に対して、入口での手消毒、密を避けた入館などの感染防止対策を引き続きお願いする必要があります。</p>	

文化財の保存・活用	文化財の調査・指定により、修復や防災対策等、保存に必要な措置を計画的に行います。また、活用を図るため、広く市民が文化財に親しむ機会を提供します。	生涯学習課
【 実施状況 】	文化財の案内看板を設置したほか、文化財周辺の環境整備を行いました。	
【 成果と課題 】 [○成果 ▲課題]	<p>○看板の設置により文化財の周知が図られたほか、文化財周辺の環境整備を行い、文化財の適切な保存と来訪者への理解を深めることができました。</p> <p>▲指定、登録された文化財は100件以上あるため、巡回等により計画的に看板の設置や補修を図っていく必要があります。</p>	

観光スポットとしての歴史文化遺産の活用	寺社、戦国大名里見氏、青木繁「海の幸」、近代の戦争遺跡等に関連する歴史文化遺産や市内から輩出した偉人の歴史学習を推進するとともに観光やまちづくりに活かします。	生涯学習課
【実施状況】	<p>コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、赤山地下壕跡を公開し、券売機の整備を行いました。</p> <p>赤山地下壕跡のポストカードを作製し、歴史学習を推進しました。</p> <p>館山城と赤山地下壕跡の情報をあわせて発信し、周辺の見学ルートの提供を行いました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○市外からの入壕者も多く、魅力ある資源として活用が図られました。</p> <p>▲平成29年度から受付業務を業務委託したため、受託者との連携が重要となります。</p> <p>入場者数の増加に対応した施設の整備が必要となります。</p>	

民俗芸能伝承者の育成	民俗芸能大会への出演支援や継承のための映像記録作成により、伝承者の育成を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	新型コロナウイルス感染の拡大により民俗芸能の実施が困難となっていることから、民俗文化財の状況把握に努めました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>▲少子高齢化やライフスタイルの変化により伝承者が減少し、後継者育成が難しくなっています。</p> <p>活動を続けるうえでの資金が不足しています。</p>	

国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」の保存・整備	地権者や地域住民、市民団体と連携し、適切な保存管理を行います。また、広域連携により、国史跡「里見氏城跡」の整備・活用による地域活性化に向けた検討を行います。	生涯学習課
【実施状況】	<p>地域住民と連携し保存管理を行いました。</p> <p>南房総市と連携し、里見氏城跡の整備・活用の検討を行いました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○管理委託により、史跡の適切な保存管理を図ることができました。</p> <p>▲史跡として整備していくためには権利関係の整理が必要です。</p> <p>南房総市にある国史跡岡本城跡との連携した整備も必要となります。</p>	

歴史・文化情報の発信強化	館山市の歴史・文化に関する情報を、博物館が運営するWEBサイト「たてやまフィールドミュージアム」において発信し、地域の魅力発信に努めます。また、文化庁が運営するポータルサイト「文化遺産オンライン」に博物館収蔵資料の一部を掲載し、以前から要望のあった南総里見八犬伝、戦国大名里見氏、郷土史関連の収蔵資料をインターネットで公開します。	博物館
【実施状況】	博物館が蓄積する地域の歴史、民俗等の情報を、「たてやまフィールドミュージアム」として公開することで、館山の魅力を広く発信しました。また、文	



	<p>化庁「文化遺産オンライン」を活用し、当館収蔵資料を公開しました。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、自宅で博物館情報を得られる「おうちミュージアム」を博物館ホームページにおいて運営しました。</p> <p>たてやまフィールドミュージアム 閲覧者数 26,294 人 ページビュー数 86,678 回</p>
<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○インターネット上で公開することにより、館山市の歴史や文化に関する情報資産を迅速に活用できるようにしました。</p> <p>▲博物館運営の重要な施策として、今後も情報発信を強化していくことが必要です。</p>

## (2) 文化の振興

計画事業名	事業内容	担当課
芸術文化活動の充実	「館山市文化祭」や「館山市サークルフェスティバル」など、芸術文化活動の発表の場を提供し、市民の自主的な活動を支援します。	生涯学習課
【 実施状況 】	<p>・市民に優れた文化鑑賞の機会を提供するため、音楽鑑賞協会・芸術文化協会・茶道連盟などの活動に対して補助を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止となりました。</p> <p>・「館山市文化祭」や「館山市サークルフェスティバル」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p>	
【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○各団体に対し補助を行うことにより、円滑な事業の実施ができ、市民に対し優れた文化鑑賞等の機会を提供するところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止となりました。</p> <p>▲各団体の高齢化による会員の固定化や減少があり、団体組織の活性化が課題となっています。</p>	

全国大学フラメンコフェスティバルの開催	館山市の温暖な気候と、「学生フラメンコのまち館山」のイメージを情報発信し、学生フラメンコをきっかけとした交流人口・関係人口の拡大を図ります。	生涯学習課
【 実施状況 】	全国の大学生等と連携し、他に類の無いイベントである全国大学フラメンコフェスティバルや関連事業の花火とフラメンコ等を実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送りました。	
【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕	○関係団体と協議を進め、次年度以降の事業方針の見直しを実施しました。 ▲参加者の減少や特定の関係者により維持していたこともあり、同規模の事業を継続して実施していくことが困難となっています。	

## 第5節 スポーツの振興によるまちづくり



### ■ 基本方針

- 市民が生涯を通じてスポーツに触れ合う機会を拡充し、市民の健康維持や活力ある社会の実現を目指します。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会によるレガシー（遺産）を見据えたまちづくりを推進します。
- 時代に合ったスポーツ観光を推進し、スポーツによる交流人口・関係人口の拡大を目指します。

#### （1）市民スポーツの振興

計画事業名	事業内容	担当課
生涯スポーツの機会提供	「館山ファミリースポーツクラブわかしお」の活動支援や各種スポーツ大会の開催など、スポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康・体力の保持増進を図ります。	スポーツ課
【実施状況】	令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツイベントの中止や延期、外出自粛による運動機会の減少など、市民一人ひとりの運動に対する意識改革や健康の保持増進及び体力向上を図ることが重要になっています。 こうした中で、ウォーキングアプリを活用した、誰でも参加しやすい「ロゲイニング大会」などのイベントを開催しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○ウォーキングを通じて、運動習慣の機運醸成を図るとともに、市民の健康・体力づくりに寄与することができました。 ▲コロナの収束が見えない中、運動不足やストレスによる健康二次被害の拡大を防ぐため、感染対策を十分に施し、イベントの再開を模索するとともに、新しい生活様式に対応した運動習慣の機運醸成の継続を引き続き図る必要があります。	

社会体育団体の育成支援	社会体育団体の育成・支援を通じ、市民の健康・体力の保持増進や競技力向上、青少年の健全育成等を図り、活力ある社会の実現を目指します。	スポーツ課
【実施状況】	館山市スポーツ協会（24団体・会員約3,800人）、館山市スポーツ少年団（21団体・団員333人・指導者81人）へ補助金交付し、活動を支援しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、県民体育大会をはじめ各種大会が中止や縮小となりました。	

<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○館山市スポーツ協会及び館山市スポーツ少年団の活動を通じて、生涯スポーツ、競技スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与することができました。 ▲少子高齢化により、団員数が減少傾向となっており、今後の各団体の継続、存続が困難な状況が見受けられます。</p>
--------------------------------	--

<p>社会体育施設の整備充実</p>	<p>生涯スポーツの推進のため、既存体育施設の適切な維持管理・整備を行い、利用者の利便性・安全性の確保に努めます。</p>	<p>スポーツ課</p>
<p>【 実施状況 】</p>	<p>施設の適切な維持管理、整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民運動場旧トイレ棟解体撤去工事</li> <li>・市民運動場旧トイレ棟電気設備移設工事</li> <li>・市営25m室内温水プールボイラー補水タンク交換工事</li> <li>・市営25m室内温水プール柱補強工事</li> <li>・館山市営市民体育館天井等撤去工事</li> <li>・西岬市民体育館1階屋根防水改修工事（災害復旧工事）</li> <li>・市民運動場公衆トイレ屋根復旧工事</li> </ul> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設利用制限や利用者による消毒作業などの感染対策を行い、施設の適切な運用と利用者の安全確保に努めました。</p>	
<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○施設の維持管理、整備、新型コロナウイルス感染症対策を行い、利用者が安全安心に利用できる環境づくりを行いました。 ▲施設の老朽化が進む中、計画的に修繕や改修を行い、安全性を確保していく必要があります。</p>	

<p>学校体育施設の開放</p>	<p>小・中学校の体育館・グラウンド・プール等を市民に開放し、市民の健康増進や体力づくり、地域に密着したスポーツ・レクリエーション活動を推進します。</p>	<p>スポーツ課</p>
<p>【 実施状況 】</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の対策を図ったうえで、スポーツ少年団やスポーツ愛好団体等に対して、小学校8校及び中学校3校の体育館・グラウンド・武道館の開放事業を行いました。</p>	
<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○学校体育施設の開放により、スポーツ少年団やスポーツ愛好団体など様々な市民のスポーツ活動の場を提供し、生涯スポーツを推進しました。 ▲学校体育施設の利用に当たって、施設の破損、喫煙、ゴミ処理などの利用マナーについて、徹底していく必要があります。</p>	

## (2) スポーツ観光の推進

計画事業名	事業内容	担当課
<p><b>重点</b> オリンピック・パラリンピックのレガシー(遺産)を活かしたまちづくり</p>	<p>観光施策と融合したスポーツ観光を推進し、館山湾をはじめとする自然環境や既存体育施設等の有効活用により、対応可能な競技の事前キャンプ等の誘致を進めます。また、市民のスポーツへの関心を高め、健康増進や体力づくり、競技力の向上に努めます。さらに、事前キャンプの実績を、館山の良好な自然環境と関連付け、来訪者向けに情報発信していきます。</p>	<p>スポーツ課(東京オリパラ・キャンプ誘致室)</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会は開催延期に伴い、事前キャンプは2021年に実施されました。</p> <p>また、コロナ禍における外出自粛などにより運動機運が減少することが懸念されたことから、令和2年度に、スポーツを通じて健康づくりに励んでほしいとの願いから、「スポーツ健康都市」を宣言、さらに、スポーツ庁が提唱する「Sports in Life」プロジェクトへ加盟し、引き続き、市民一人ひとりが健康増進に取り組むことができるように、ウォーキングアプリを活用したイベントを開催しました。</p>	
<p>【成果と課題】 【○成果 ▲課題】</p>	<p>○延期に伴い、継続して事前キャンプの誘致に取り組んできた結果、事前キャンプは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、USAトライアスロンの事前キャンプは、叶いませんでしたが、オランダトライアスロン競技の事前キャンプを行うことができました。</p> <p>▲オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、トライアスロン競技のトレーニング地を求めて館山へ訪れてもらえるように、SNSでの発信や館山トライアスロン大使の協力のもと、情報発信に努めて、新型コロナの感染対策を考慮しつつ、交流人口の拡大に繋げていく必要があります。</p>	
<p>館山若潮マラソン大会の魅力向上</p>	<p>大会環境の向上とスポーツボランティアの育成・拡大に努め、大会参加者・地域住民などのニーズを可能な限り反映した大会を実施します。</p>	<p>スポーツ課</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、通常開催を見送り、リアルオンラインマラソン形式で実施しました。</p>	
<p>【成果と課題】 【○成果 ▲課題】</p>	<p>○リアルオンラインマラソン形式による、分散型のイベントへ切り替えたことで、密集・密接を避け、参加者がイベント期間中に好きなタイミングで走ることで、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑えつつ、館山に訪れてもらうことで、観光・食事と地域経済にも寄与することができました。</p> <p>▲コロナの収束が見えない中、運動機会の減少、モチベーションの低下により、マラソン離れが懸念されるため、通常開催に向けてエントリー数を現状維持させるために、魅力あるマラソン大会をPRしていく必要があります。</p>	

<p>スポーツイベントの開催</p>	<p>自然環境や既存体育施設等を最大限に活かし、スポーツ愛好者からトップアスリートまで、幅広い層の交流人口の拡大を目指します。</p>	<p>スポーツ課</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツイベントの中止や延期となりましたが、緊急事態宣言解除後には、「市民スポーツレクリエーション祭」やイオンタウン館山、館山市スポーツ推進員と共催し、「ウォーキングやポッチャ」のイベントを開催しました。</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○コロナ禍における運動不足による健康二次被害も懸念される中、ポッチャなどの比較的参加しやすいスポーツを介し、市民の健康の保持、増進、ストレス解消に寄与することができました。</p> <p>▲コロナ禍においては、感染対策を十分にとった中でのイベント開催に加え、市民一人ひとり取り組む健康増進・体力づくりが重要です。</p>	